

山本 光明 議員



一括質問方式

①市長の政治姿勢について

市長の政治姿勢について

**問** 今後の防災・減災対策はどのよう  
に考えるか。

**答** 国及び県では、河川整備計画に  
基づく堤防整備が進められてお  
り、これらの築堤事業が完了した後  
は、内水対策が重要になると考えて  
います。このため昨年度から国、県  
と協働で内水対策計画を策定中で、  
現在、箇所ごとの具体的な対応策を  
検討しています。また、今後は肱川  
流域の関係者と連携し、流域治水へ  
の取組も積極的に進めます。  
また、南海トラフ地震など大規模

地震の発生は防ぐことはできません  
が、どのような大規模自然災害が発  
生しようとも、市民の生命、財産が  
守られる対策を最優先に取り組みま  
す。

一方で、被害を最小限にするに  
は、全ての市民に防災に関する知識  
を身につけていただくことが肝要で  
すので、各家庭や地域、学校などあ  
らゆる場で、防災に関する知識や情  
報を学習する機会をこれまで以上に  
設けます。

さらに、災害に強い地域づくりの  
ため、各地域で地区防災計画に基づ  
く定期的な防災訓練の実施や災害・  
避難カード作成事業などを通し、一  
人一人の防災意識の向上に加え、自  
主防災組織を中心に、自分たちの地  
域は自分たちで守ろうという地域防  
災のための住民活動を推進したい考  
えです。

**問** 肥大化する社会福祉業務、国策  
の温暖化対策など行政の組織再  
編をどう考えるか。

**答** 市民福祉部の業務は、保健・医  
療・福祉・環境など幅広い分野

にわたっており、また市民生活に直  
結した業務を所管しています。ま  
た、少子・高齢化や人口減少が進む  
中、健康寿命の延伸や子育て支援の  
充実、地域医療対策など、取り組む  
べき課題が山積しています。

特に、環境問題は、SDGsにお  
いて近年注目を集めている分野であ  
り、環境保全への取組は、あらゆる  
問題解決の基礎となるものですの  
で、環境分野の強化は急務だと考え  
ています。

さらに、新型コロナウイルス感染  
症は新たな変異株が発生するなど、  
国内での第6波の危険性があり、終  
息の兆しが見通せない状況が続いて  
います。そのため、市民福祉部門の  
業務を見直し、直面する政策課題に  
迅速かつ機能的に対応できるよう、  
組織のあり方について検討を進める  
必要があると考えています。

**問** 市長の目指す今後の大洲市の将  
来像、そして2期目に対する所  
信をお聞きます。

**答** 私自身が進むべき方向性は現在  
熟慮していますが、災害からの

復旧・復興を成し遂げ、未来に希望  
の持てる大洲市の実現に向けて、こ  
れからも私が果たしていく役割があ  
るのではないかという思いに至って  
います。ふるさと大洲で自信を持っ  
て安心して生活できる、移住先や訪  
問先として選んでいただき、若者た  
ちが「大洲市出身です」と胸を張っ  
て言えるような、持続可能で魅力あ  
ふれるオンリーワンのまちづくりを  
実現していくことが、私に課せられ  
た使命ではないかと考えています。

その上で、議員各位や多くの市民  
の皆様からのご支援をいただけるな  
ら、これから先も責任を持ってその  
任に当たるべく、大洲市の将来像を  
見据え、この先4年間の施策につい  
て取りまとめを行い、しかるべきと  
きに2期目の公約として市民の皆様  
に発信させていただきたいと考えて  
います。

市民の皆様をはじめ、議員各位の  
ご意見を拝聴しながら、2期目に向  
けた挑戦ができるよう、準備を進め  
る所存です。